

第二六八回松山市観光俳句ポスト

第二六八回開函

「柿」主宰 高石 幸平 選

特選三句

秋風や汽笛一声道後の湯

大阪府堺市 近江 成治

石鉮をひとまたぎする天の川

大阪府大阪市 小原 弥寿子

段畑に火の駈け上り彼岸花

愛媛県今治市 武田 敬子

入選二十句

焼失の宝蔵寺跡赤蜻蛉

静岡県静岡市 磯田 なつえ

終点は道後湯の町秋の旅

愛媛県西条市 稲井 達夫

すだれ越し夕風そよぐ道後の湯

神奈川県横浜市 内田 真生

秋扇旅の古城に忘れけり

愛知県名古屋市中区 梶田 遊子

窓開けて坊っちゃん列車風涼し

愛媛県四国中央市 河端 真澄

秋風にさそはれ一人道後の湯

東京都世田谷区 佐田 侑樹

爽やかや坊っちゃん電車の車掌さん

千葉県船橋市 清水 明

秋簾巻きて道後の夜の更けり

東京都台東区 菅原 有美

島々に入道雲がのしかかり

神奈川県伊勢原市 根岸 清一

山奥に蝉しぐれ聴く二人旅

北海道札幌市 細川 貴久子

ゆるやかに時が流れる夏の島

愛媛県伊予市 前田 知子

秋深し俳句をひねる足湯かな

東京都練馬区 三島律夫

坂の上の萬翠荘や秋の雲

京都府京都市 宮田 香

盆参り愛しき人は星になり

東京都国分寺 三好まゆみ

涼風や坊っちゃん列車窓全開

埼玉県越谷市 屋内 修一

(市内)

名月や松山城を包みこむ

愛媛県松山市 荻田 一美

伊予餅売る店先の風涼し

愛媛県松山市 味村 恒男

門前の鶯草夜のつばさ張る

愛媛県松山市 渡辺 美紀子

(十五歳以下)

せみのこえしきかいかんでべんきようす

大阪府大阪市 寺内 実香

遠くからみこしの声がいせいよく

愛媛県松山市 渡部 豪

伊予灘ものがたり賞

台風の間間に集ふ宴かな

愛媛県松山市 堀口 恵子

投句総数 一〇一五

市外 七三〇

市内 二八五

投句者総数 五九九

市外 四七三

市内 一二六

開函日 平成二十六年九月三十日